

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年12月04日

計画の名称	真備地区における災害に強いまちづくりの推進												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	倉敷市,岡山県												
計画の目標	平成30年7月豪雨災害により被災した本市において、地区の防災性向上を図るための避難路等を整備することで、経験を活かした災害に強いまちづくりを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,467	A	1,458	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.61	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		R5
1	避難が困難な地点から指定避難所等まで円滑に避難できる経路を確保するなど、地域内の防災性を向上させる。 避難想定区域内における避難可能人口率の向上(避難可能人口の定義:幅員6m以上の道路を利用(道路沿線200m圏内)して指定避難所等へ避難することが可能な人口) (避難可能人口÷避難想定区域内の人口)×100	83%	%	84%
2	避難が困難な地点から指定避難所等まで円滑に避難できる経路を確保するなど、地域内の防災性を向上させる。 避難想定区域内における緊急時に指定避難地へ避難が困難な世帯の解消 (当初避難困難世帯)-(新規防災公園・避難地への避難可能世帯)	450世帯	世帯	0世帯

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	倉敷市	直接	倉敷市	-	-	復興まちづくり計画策定	計画策定及び調査	倉敷市						9	-	
		復興まちづくり計画を策定することで、地域内の防災性向上を図る避難路整備を計画的に推進することができる																	
											小計						9		
											合計						9		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 倉敷市建設局において評価を実施	事後評価の実施時期 令和6年12月
	公表の方法 倉敷市ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	狭隘な避難路の拡幅や避難地の拡充（防災公園は除く）により、円滑な避難体制の確保が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	災害時だけでなく、平常時の通学路・生活道路の安全確保が図られた。
特記事項（今後の方針等）	
事業期間を延伸した防災公園は、次期計画で継続して整備する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	避難可能人口率の向上	
	最終目標値	84%
	最終実績値	84%
2	避難困難世帯の解消	
	最終目標値	0世帯
	最終実績値	332世帯
		防災公園の整備について、用地交渉に不測の日数を要し、事業期間内の整備完了が困難となったため目標を達成できなかった。